

平成30年度 学校評価報告書

五島市立盈進小学校

1. 学校教育目標	心豊かで、主体的に学びに向かう、心身ともに健康でたくましい児童の育成 ～ふるさとを大切に、みんなの夢があふれる学校～
2. めざす児童像	えがおで友達と仲良くする子ども ①進んで挨拶や返事をし、時と場に応じた言葉遣いができる。 ②思いやりの心を持ち、相手の立場に立って誰にでも親切にできる。 ③みんな仲良く協力し、助け合うことができる。
	いまやるべきことがわかり、進んで学ぶ子ども ①課題をしっかりとなえ、主体的・計画的に学習することができる。 ②学習課題に対して、友達と学び合い、理解を深めることができる。 ③習得した知識や技能を活用して、新たな課題を解決することができる。
	しんぼう強く、やりぬく子ども ①目標を持ち、あきらめないうで根気強く運動することができる。 ②当番や係、委員会の仕事、清掃に進んで取り組み最後までやり遂げることができる。 ③食事のマナーを守り、好き嫌いせずに残さず食べることができる。
3. 重点目標	①地域の「人・もの・こと」に積極的に関わり、ふるさとの良さに気づかせる教育活動の実践 ②子どもに身に付けさせたい資質・能力を共有し、それに基づく意図的・計画的な指導の継続 ③子ども一人一人の成長のために何が出来るかを追求し、チームとなって団結できる教職員風土の醸成

4. 自己評価

評価項目	NO	評価内容	4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない															
			保護者				児童				職員				地域			
			4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
豊かな心 えがおで 友達と 仲良く する 子ども	1	子どもたちは、進んであいさつや返事をしている。	16%	71%	13%	0%	56%	44%	0%	0%	44%	56%	0%	0%	42%	58%	0%	0%
	2	子どもたちは、時と場に応じたいい言葉遣いをしている。	5%	68%	26%	0%	49%	51%	0%	0%	11%	78%	11%	0%	42%	58%	0%	0%
	3	子どもたちは、みんな仲良く協力し、誰にでも親切にしている。	34%	55%	11%	0%	51%	46%	2%	0%	11%	89%	0%	0%	50%	50%	0%	0%
豊かな学力 進んで 学ぶ 子ども	4	子どもたちは、計画的に家庭学習に取り組み、意欲的に学習している。	13%	53%	34%	0%	46%	49%	5%	0%	50%	38%	13%	0%				
	5	子どもたちは、人の話をよく聞き、自分の考えを進んで話している。	13%	47%	39%	0%	41%	54%	5%	0%	25%	50%	25%	0%				
	6	子どもたちは、今までの学習を生かし、自分の力で解決しようとしている。	16%	45%	39%	0%	63%	32%	5%	0%	25%	63%	13%	0%				
健康な心と しんぼう 強く 元気に 遊ぶ 子ども	7	子どもたちは、元気に遊んだり、根気強く運動したりしている。	61%	32%	8%	0%	73%	24%	2%	0%	67%	22%	11%	0%				
	8	子どもたちは、当番・係などの仕事や清掃にしっかり取り組んでいる。	32%	66%	3%	0%	68%	32%	0%	0%	44%	44%	11%	0%				
	9	子どもたちは、食事のマナーを守り、バランスよく何でも食べている。	16%	71%	13%	0%	54%	34%	12%	0%	33%	56%	11%	0%				
重点事項	10	学校は「ふるさと盈進」のよさに気づかせる教育活動を実践している。	87%	11%	3%	0%					63%	38%	0%	0%	100%	0%	0%	0%
	11	学校は、保護者や地域と積極的に連携し、情報を進んで発信している。	89%	11%	0%	0%					78%	22%	0%	0%	92%	8%	0%	0%
	12	学校は「身に付けさせたい資質・能力」育成を意図的に進めている。	71%	26%	0%	3%					44%	56%	0%	0%	38%	63%	0%	0%
	13	学校は「子ども一人一人の成長」のために協力して取り組んでいる。	76%	22%	0%	3%					67%	33%	0%	0%	100%	0%	0%	0%
学校教職員 風土	14	学校は、いじめのない集団づくりに全力を傾けている。	79%	16%	3%	3%					89%	11%	0%	0%	82%	18%	0%	0%
	15	学校は子どもをよく理解し、個に応じていいに対応している。	76%	18%	3%	3%					78%	22%	0%	0%	82%	18%	0%	0%
	16	学校は、「分かる授業」の実践に努めている。	74%	24%	0%	3%					88%	13%	0%	0%	82%	18%	0%	0%

5. 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

4段階評価を行い、上位2段階を肯定的評価と捉えると、すべての評価項目において肯定されている。昨年度までと同様、保護者の評価が児童・教職員・地域関係者と比べて低い傾向にあるが、年々向上傾向にある。特に、あいさつ・返事は、肯定的評価が約90%である。No10からNo16まではすべて高い数値であった。

課題としては、「学習面」「言葉遣い」「食育」である。昨年度に引き続いてこの3つが挙げられるので、本年度以下の対策を講じている。

「学習面」

- ・長崎県「学力向上のための三つの提案」の実施
- ・本校学力向上プランの大幅な見直しと作成
- ・算数科校内研究を核とした授業改善

「言葉遣い」

- ・児童会活動を主体とした児童による自主的、主体的な改善
- ・良くない言葉遣いをしたときの即座の指導と人権教育、道徳教育の推進
- ・PTAとの連携 学級懇談会の活用

「食育面」

- ・学校保健員会とPTAによる生活習慣の改善に向けての取組
- ・PTAによる食育講演会

6. 学校関係者評価での提言等

- ・保護者も地域の方も先生方とうまくコミュニケーションがとれていて、すばらしいと思う。学校に足が運びやすい。
- ・少人数なのに校内がきれいに保たれている。
- ・学校とPTA,地域が子どもたちのことをしっかり考えて一つの輪になり行動している姿に感動する。一生懸命な先生方の姿に、子どもたちが良い子に育たないわけがない。
- ・細道の下り坂を自転車に乗ってけっこうなスピードで下っていく姿を見ることがある。自転車の乗り方については、指導をお願いしたい。

7. 対策等の見直し

- ・学校教育目標とめざす児童像、育てたい資質能力、学校評価の評価項目の整合性。
- ・家庭との連携強化、PTAによる協働体制。
- ・教職員のさらなる指導力向上。